

外務大臣 上 川 陽 子 様

岩国基地における空母艦載機着陸訓練について（要請）

令和6年5月2日に、防衛省中国四国防衛局から、5月4日から5月15日までの間に硫黄島において米空母艦載機の着陸訓練が実施され、5月8日から5月14日までの間に悪天候等により所要の訓練が実施できない場合には、米軍岩国基地等において実施するとの連絡を受けました。

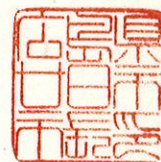
本市はこれまでも、岩国基地の機能増強により、騒音被害や事故発生の危険性の増大など市民生活への影響が懸念されることから、繰り返し空母艦載機着陸訓練（FCLP）や低空飛行訓練の中止を、周辺自治体と連携し、要請してきました。

この度、こうした地元自治体の意向を考慮することなく、岩国基地において艦載機の着陸訓練を実施する可能性を示したことは、誠に遺憾であり、到底容認することはできません。

つきましては、地元自治体の声を真摯に受け止め、市民の騒音や安全性に対する不安な思いを汲み、空母艦載機の着陸訓練について岩国基地を使用することなく、硫黄島で所要の訓練を完了すること、また、岩国基地滑走路の運用時間を厳守すること、さらには、今後の訓練において、硫黄島の代替施設として岩国基地を指定しないことを、米国側に求めるよう強く要請します。

令和6年5月2日

廿日市市長 松 本 太 郎



防衛大臣 木 原 稔 様

岩国基地における空母艦載機着陸訓練について（要請）

令和6年5月2日に、防衛省中国四国防衛局から、5月4日から5月15日までの間に硫黄島において米空母艦載機の着陸訓練が実施され、5月8日から5月14日までの間に悪天候等により所要の訓練が実施できない場合には、米軍岩国基地等において実施するとの連絡を受けました。

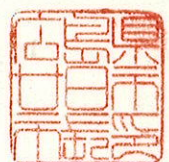
本市はこれまでも、岩国基地の機能増強により、騒音被害や事故発生の危険性の増大など市民生活への影響が懸念されることから、繰り返し空母艦載機着陸訓練（FCLP）や低空飛行訓練の中止を、周辺自治体と連携し、要請してきました。

この度、こうした地元自治体の意向を考慮することなく、岩国基地において艦載機の着陸訓練を実施する可能性を示したことは、誠に遺憾であり、到底容認することはできません。

つきましては、地元自治体の声を真摯に受け止め、市民の騒音や安全性に対する不安な思いを汲み、空母艦載機の着陸訓練について岩国基地を使用することなく、硫黄島で所要の訓練を完了すること、また、岩国基地滑走路の運用時間を厳守すること、さらには、今後の訓練において、硫黄島の代替施設として岩国基地を指定しないことを、米国側に求めるよう強く要請します。

令和6年5月2日

廿日市市長 松 本 太 郎



アメリカ合衆国駐日本国特命全権大使

ラーム・エマニュエル 様

岩国基地における空母艦載機着陸訓練について（要請）

令和6年5月2日に、防衛省中国四国防衛局から、5月4日から5月15日までの間に硫黄島において米空母艦載機の着陸訓練が実施され、5月8日から5月14日までの間に悪天候等により所要の訓練が実施できない場合には、米軍岩国基地等において実施するとの連絡を受けました。

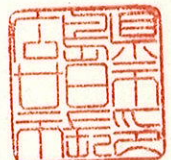
本市はこれまでも、岩国基地の機能増強により、騒音被害や事故発生の危険性の増大など市民生活への影響が懸念されることから、繰り返し空母艦載機着陸訓練（FCLP）や低空飛行訓練の中止を、周辺自治体と連携し、要請してきました。

この度、こうした地元自治体の意向を考慮することなく、岩国基地において艦載機の着陸訓練を実施する可能性を示したことは、誠に遺憾であり、到底容認することはできません。

つきましては、地元自治体の声を真摯に受け止め、市民の騒音や安全性に対する不安な思いを汲み、空母艦載機の着陸訓練について岩国基地を使用することなく、硫黄島で所要の訓練を完了すること、また、岩国基地滑走路の運用時間を厳守すること、さらには、今後の訓練において、硫黄島の代替施設として岩国基地を指定しないことを、強く要請します。

令和6年5月2日

廿日市市長 松 本 太 郎



米海兵隊岩国航空基地司令官

リチャード・M・ラスノック大佐 様

岩国基地における空母艦載機着陸訓練について（要請）

令和6年5月2日に、防衛省中国四国防衛局から、5月4日から5月15日までの間に硫黄島において米空母艦載機の着陸訓練が実施され、5月8日から5月14日までの間に悪天候等により所要の訓練が実施できない場合には、米軍岩国基地等において実施するとの連絡を受けました。

本市はこれまでも、岩国基地の機能増強により、騒音被害や事故発生の危険性の増大など市民生活への影響が懸念されることから、繰り返し空母艦載機着陸訓練（FCLP）や低空飛行訓練の中止を、周辺自治体と連携し、要請してきました。

この度、こうした地元自治体の意向を考慮することなく、岩国基地において艦載機の着陸訓練を実施する可能性を示したことは、誠に遺憾であり、到底容認することはできません。

つきましては、地元自治体の声を真摯に受け止め、市民の騒音や安全性に対する不安な思いを汲み、空母艦載機の着陸訓練について岩国基地を使用することなく、硫黄島で所要の訓練を完了すること、また、岩国基地滑走路の運用時間を厳守すること、さらには、今後の訓練において、硫黄島の代替施設として岩国基地を指定しないことを、強く要請します。

令和6年5月2日

廿日市市長 松 本 太 郎

